

# ファッションコース

## 2016年度 試験科目

公募制推薦入試

一般入試A日程

一般入試B日程

● 共通学力試験 (P.003~)

● ファッションデザイン

● 共通学力試験 (P.003~)

## 前年度からの変更点

- 公募制推薦入試、一般入試A日程の「ファッションデザイン」の内容を変更します。
- 公募制推薦入試、一般入試A日程の「小論文」「面接・作品審査」をとりやめます。

## ● 共通学力試験

P.003

## ● ファッションデザイン

**出題意図：** 身の回りから解決したいものやことを発見し、仮説を立て効果的に導いてもらいます。  
この基本的な手順に沿って、ファッションだから出来る、よりよい明日を作る方法を考えてもらおうとしています。

## 2015年度 試験問題（想定問題）

**時間：** 3時間

**問題：** デザインとは、一言で言えば「問題解決」をすることです。  
たとえば家庭用の洗剤。中身がなくなる度に洗剤の容器を捨ててしまうと大量のゴミを出すことになってしまいますが、「詰め替え用」のパッケージを販売することでゴミの量を減らすことができます。あるいはマスキングテープ。家庭用の粘着テープはセロテープやガムテープのような無機質な商品しかありませんでしたが、さまざまな色と柄が使われたテープによって紙を貼るという行為が楽しげなものになり、さらには「貼る」以外のさまざまな用途（たとえば装飾）がそこから生まれたりもしました。つまりデザインとは自己表現ではなく、社会をよりよく、より豊かにするものです。このような考えを踏まえ、新しいファッションを提案しなさい。

(問1)

あなたは現代のファッションにどのような問題を見出しますか？  
「問題点」と、それが「誰」にとっての問題なのかを文章で説明しなさい。

(問2)

問1で回答した問題をどのように解決できるのか、文章で説明しなさい。

(問3)

問2で回答した解決案は実際にどのような商品（あるいはサービス）になるのか、絵や表を使いながら図示しなさい。

**支給材料：**

- 問1、問2用 解答用紙 1枚
- 問3用 解答用紙 (B4)・下描き用紙 (B4) あわせて10枚

(問1)

電車に乗っていて、つり革をもっている人が、トップスの下からお腹や肌着が見えてしまっているのが残念だと思う。

つり革を持っている時だけでなく、上の荷物を取る時や、誰かに思いっきり手を振る時などシチュエーションはいろいろあると思う。

なので、両手をあげたとしても、お腹や肌着が見えることなく、安心感のある服があればいいと思う。

(問2)

まず、何故手をあげると一緒に服もあがってしまうかを考えると、わきの下に十分なゆとり(運動量)が足りていないのがわかる。

(問3)



**想定問題 作品評価**

この作者は服の構造に注目しています。実生活、体験から問題を見つけて具体的な解決案を導く、模範的解答ですね。服を変える事によって確実に解決出来そうな問題を見つけているところと、出来上がりが想像出来る、わかる図説が良いです。アイデアも発展出来そう。問題を解決した上で、よりかたちを魅力的な服にする方法を見つけましょう。

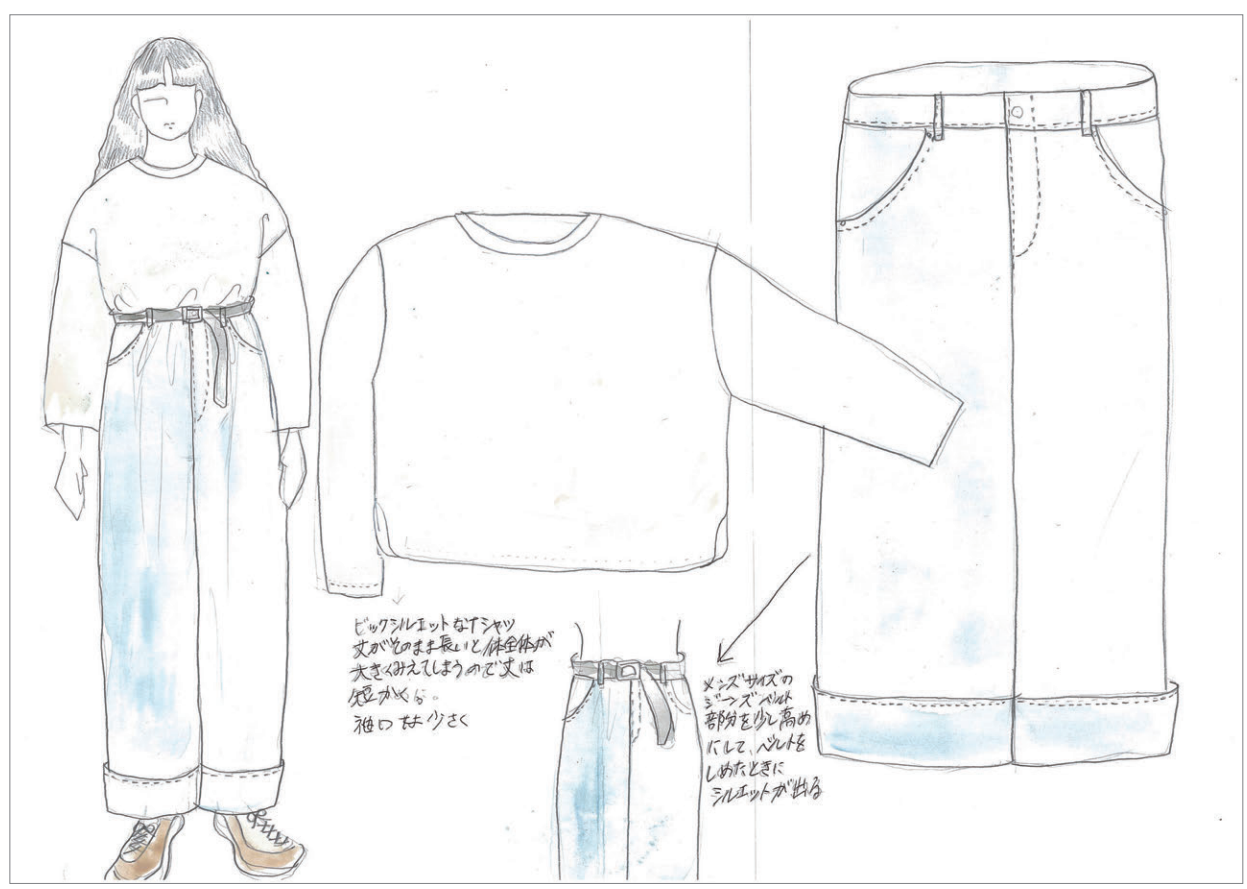
(問1)

女性は女性らしい服を着るという普通。  
 女性らしいシルエットの服が女性服の一般的なものですが、女性らしさは、国や文化によって捉え方が大きく  
 違います。  
 現代の日本では10代や20代の女性らしさとは「可愛い」が一般化しています。この日本独特の「可愛い」とい  
 う価値観、日本の10代20代向けのファッションを見た時に違和感を感じます。  
 日本独特の女性観というものが美意識や物の見え方を狭めてしまっているのではないのでしょうか。

(問2)

女性らしさとは女性的なシルエットの服を着ることで感じるのでしょうか。  
 メンズライクなシルエットをばかすような服を女性が着ることで男の人が着ているのとは違う見え方になり、  
 “らしさ”を強調する服よりも女性自身もっている可愛らしさが見え、もっと魅力的に見えると思います。  
 女性らしい服装が「普通」になっているから、あまりそれを感じる人はいないと思うけれど、このような考えを  
 背景に服作りをし、違う視点で魅力について考えてもらうきっかけを作り、「普通」とは違う視点を持ってもら  
 いたい。

(問3)



**想定問題 作品評価**

自身の感覚を信じて新しいファッションをつくりたい、そんなエネルギーを感じます。解答は感覚的な経験、そのままの表現なので人と共有しにくいかも知れません。「現状に無批判な、どこにでもいそうな女服ばかりでは着る人は安っぽく見える。本当に素敵で魅力的でいたいのに着たい服がない。そんな女性に服は必要ないのか」→「今

までコマースに隠れていたもっと素敵な物を見つけ、いい女性=いい生き方の枠を広げる服を提案出来たらもっと素敵。生活意識も服の商品価値も上がるのではないかと。→「女っぽい」だけでない、女性のための本物の服はこんな物。こう導くとすっきりすると思います。その上で今まで通りでは何処が駄目で、何処が良いのか、誰がどんな効果を求めて利用する道具なのか、条件を絞り込んで導くと良いと思います。

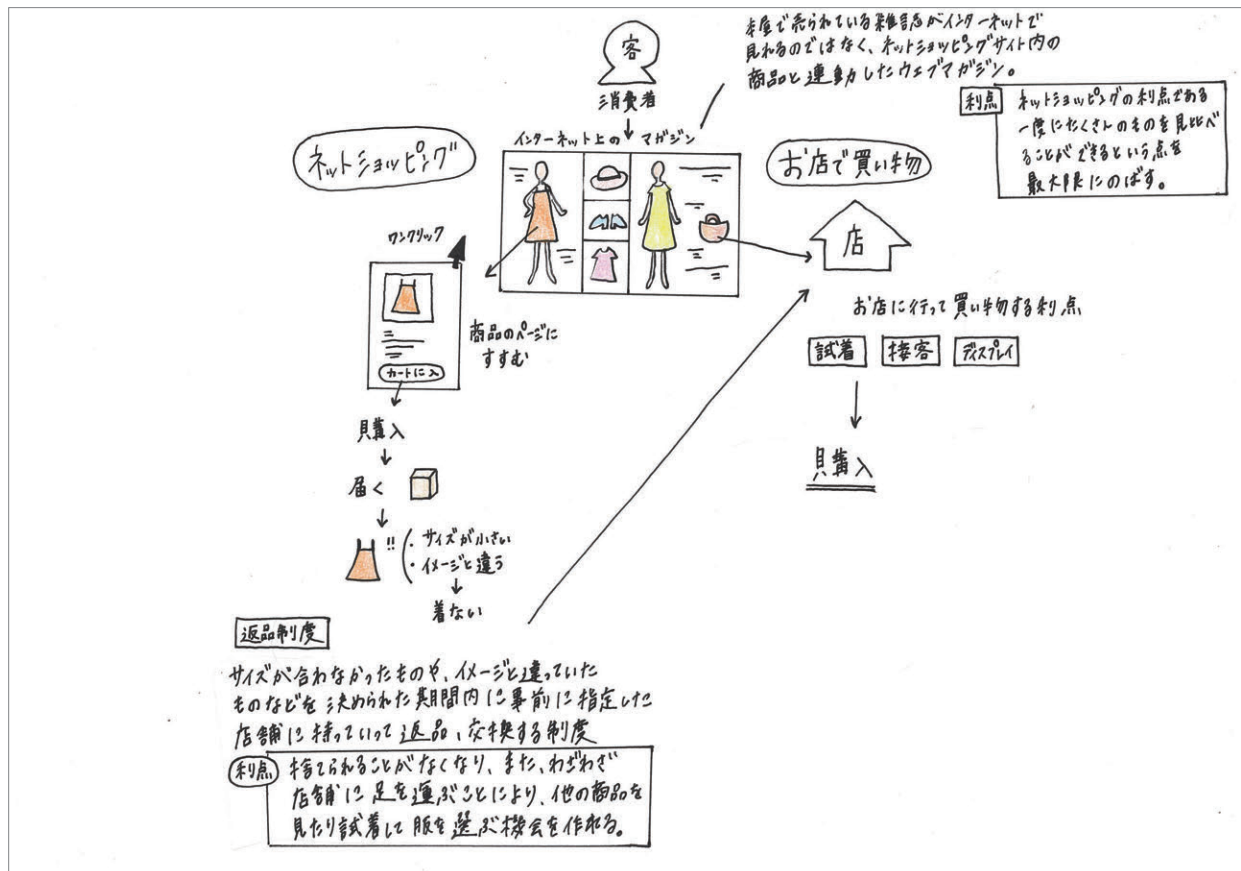
(問1)

インターネットショッピングが年々栄えていくことにより、最近では服を買う際に、外に出掛けるのではなく、自宅でインターネットを利用して買い物を楽しむ人が増えてきた。しかしその一方では、店頭で足を運んで買い物をする人が減り、自分の目で商品を見て、試着し、よく考えて購入する機会が減少している。ネット上でワンクリックで服が購入できるようになり、インターネットショッピングが栄える以前に比べ、気軽に服を購入できるようになったが故に、服一着一着の価値が減少するという問題が生まれている。これらの問題が続くと、消費者の私達は、社会をよりよく、より豊かにするはずのデザインのよしあしを判断できなくなる。

(問2)

このような問題を解決するためには、服を一着一着、真剣に選んで購入してもらう機会を作るために、店に足を運んでもらう工夫をする必要がある。ネットショッピングの利点の一つとして、店員さんなどの目を気にせずに気軽に買い物できる点がある。「こちら最後の1点なんです」「モデルの～ちゃんが着用した商品です」といった無駄な情報を一方的に話され、うっとおしく感じる人も多いだろう。このような接客を無くし、店頭にて接客してもらうことで、商品の様々な情報やアドバイスなどがもらえ、気持ちよく買い物できるようになれば、ネットショッピングの利点も、お店に行く利点に変わる。そして、お店に足を運んでじっくり吟味して購入することにより、服一着一着の価値の低下を防ぐ。

(問3)



想定問題 作品評価

この作者は「買う」行為に注目し、接客、モノを巡る行為の価値に言及しています。着想はシンプルでとても良いのですが、解決に結びつきそうな具体的な方法を提示して欲しいです。人は利益効果がないと行動のパターンを変えません。細部を具体的に、ここをこうしたらこうする、と組み立て考えてみる必要があると思いま

す。また、「しくみ」は特別な能力を持つ人でなく、普通の人の出来ることで組み立てないと使いにくいのが難しいところ。これからは効果的に解決する—何かを少し変えれば大きく変えられそうなものにつけて生活すると良いと思います。

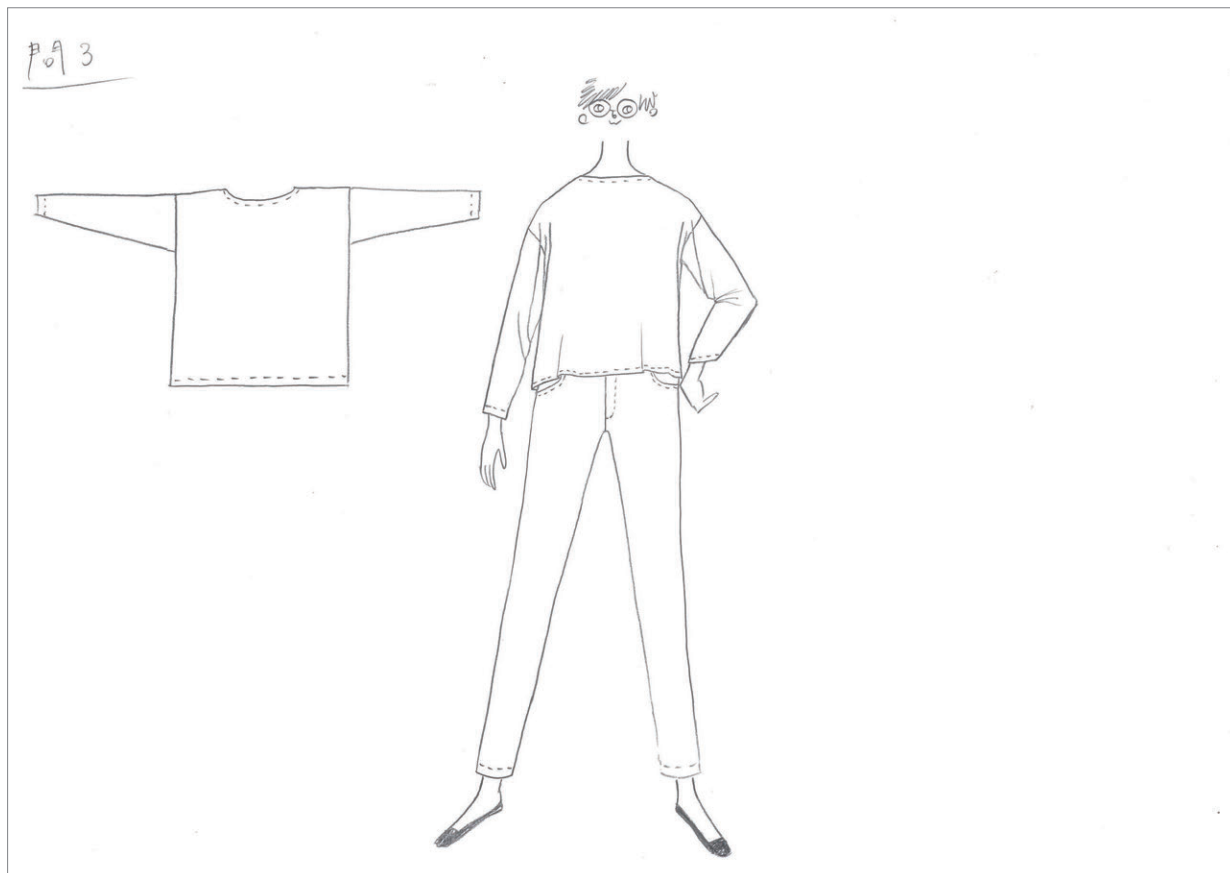
## (問1)

1. 「ファッション」をまとめる人達の範囲が狭いこと。おしゃれを楽しみたいおとしよりや障害者、一般的な体形サイズとは違う人達にとって問題になる。
2. 誰も着ないような服がファッションコンテストで受賞することは、ファッション業界にとっても問題になる。良いものを作りたいという制作者にとって、ファッション業界で評価されるものとお客さんに評価されるものを混同してしまうことは良い作り手を生まない。
3. ファッションに興味がない人が手軽に買える、人を素敵にみせる服がない。
4. 巡回店がないことは、地方に住み遠出をできない人達にとって問題。
5. 服が作られている背景が不透明であることは、生活をしている私達にとって問題になる。服が作られることは環境に悪影響をおよぼすこともあるため将来の生活に関わってくる。

## (問2)

- 1---お年寄りはお年寄りから、障害者は障害者から、デザイナーをつくる。またはブランドやデザイナーとコラボすることで、利用者の気持ちに配慮したもので且つおしゃれを楽しめるものができる。
- 3---パターンは簡単に無駄をなくして費用を下げる。パターンを四角形として考える場合、襟ぐり、袖、丈は変更が簡単のためバリエーションが作りやすく、低価格での量産が可能。

## (問3)



## 想定問題 作品評価

いろいろな方面から物を見ている事がわかります。一般的に主題は自分が経験的に理解したものを扱うと説得力が有ります。その逆はほとんど上手く行きません。また、問題は原因を分析一原因を要素に分けそのひとつひとつの遠因を探るようにしないと考案の素材になりません。自分の生活や身近な所から、ぜひ解決したい、取り組みたいと思う主題を見つけて素材にすると良いでしょう。